

熱処理の歴史は約3000年前から。西部金属熱処理工業協同組合（大阪府西区、大山照雄理事長、06・6479・1340）は、布施工科高校（大阪府東大阪市）で金属熱処理に関する出前授業を開いた。機械課の2年生約60人が受講。若い世代に熱処理の魅力を知ってもらうことなどを目的に、2018年から府内の工科高校などに向けて取り組みをはじめ、今回で7回目を迎

若者に熱処理の魅力



西部金属熱処理協組 大阪・布施工科高で出前授業

えた。

同組合所属企業の社長

ら4人による授業は、熱したシビアなものから

処理の歴史やモノづくり「就職活動に向けて準備における熱処理のしておくことは」などの役割などの座学 質問が飛び出した。

と、熱処理加工し 講師を務めた東研サー
た部材を用いた実 モテック（大阪府寝屋川
技を実施。質疑応 市）の川喜隆司社長は
答では「給料ほど 「授業を行った学校から
れくらいか」とい は毎年お願いしたいとの
声もある。講師の数を増
熱処理加工した部 やし継続して取り組む」
材を用いて、実際 とし、今後は大阪府外へ
に強度を確かめる も活動を広げる。
実技

（東大阪）